

## 令和2年度 第2回向日市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会要点録

- 1 開催日時 令和2年11月2日（月）午後2時～午後3時20分
- 2 開催場所 向日市役所本庁 防災会議室
- 3 出席委員 植田副委員長、繁本委員、高桑委員、乾委員、太田委員、今川委員  
小賀野委員 以上7名 ※委員長欠席のため、副委員長が委員長代理
- 4 傍聴者 1名
- 5 議 事  
(1) こうふくプラン向日（第9次向日市高齢者福祉計画・第8期向日市介護保険事業計画）  
（素案）について  
(2) その他
- 6 内 容  
議事（1） こうふくプラン向日（第9次向日市高齢者福祉計画・第8期向日市介護保険事業計画）（素案）について

### 事務局

資料についての説明

### 委員

- ・第8期計画の進行管理（PDCA サイクル）について、課題を明確にして、市民に示していくことが必要と思う。
- ・P18の認知症サポーター養成講座について、向日市では地域サポーターとして、介護職をリタイアして活動をされている人もいるため、これも踏まえて記述するのが良いのではないか。
- ・P17の成年後見制度については、認知症となり自身で管理できない場合や家族の管理では不都合なことが起こる場合を想定していると思うが、そういった不都合な状況を誰が発見するのか。通常はケアマネジャーであるが、民生委員、高齢介護課、地域福祉課等による連携も大切と思う。
- ・今までにない視点で計画を作成するのは良いと思うので、その方向で進めていただきたい。

### 副委員長

- ・向日市の計画としてわかりやすい。これを柱にして肉付けをしてもらえればと思う。
- ・権利擁護の件数が少ないが、どこへ相談すればよいかわからず、件数が少なくなっているとも考えられる。今後、独居世帯、高齢者世帯が増えていく中で、権利擁護の必要性は、さらに高まると思うので、行政が窓口になって対応していくようにしてもらえればと思う。
- ・認知症については、特に計画の中で政策を示してはどうか。また、在宅医療についても重要性が高まっているので、この点も計画に盛り込んでどうか。

### 事務局

- ・在宅医療については、P14に記載のとおり、医療・介護連携として乙訓2市1町で動いている。関係機関との定期的な会議を通して、医療分野、介護分野で協力して計画に反映したい。

#### 委員

- ・地域包括支援センターについて、今以上に多くの役割を持つことになるが、人材等の面で実際に可能か。また、そのためには、行政からある程度のバックアップも必要と思う。

#### 副委員長

- ・地域包括支援センターは開設して4年が経ち、市民へ広く認知され、相談件数が増えている。地域包括支援センターは、専門的な知識を持った人材が不足しているため、設備に余裕があっても、運営は難しくなるのではないかと。向日市だけの問題ではないが、大変、重要な問題だと思っている。
- ・全てを計画に記載することは難しいと思うが、行き詰ってしまわないように検討していただきたい。

#### 事務局

- ・人材の確保に努めなければならないと思っている。
- ・地域包括支援センターにおいては、一件の相談に対して時間を要しているのが現状であり、このためにも人材が必要である。
- ・地域共生社会の観点もあるので、地域包括支援センターだけではなく、どの年代でも高齢者サポートの担い手となれるような方向を考えていきたい。

#### 委員

- ・訪問看護等が増えているとあったが、地域包括支援センターでは、相談が1,000件以上増えている。これは、介護保険制度として悪い方向ではないか。
- ・共生という考え方はあるが、自助があつて、共助、公助ということではないかと考えている。
- ・介護保険制度を使ってくださいという方向性ではなく、使わないでというぐらいでもよいのではないかと思う。

#### 委員

- ・福祉用具の利用等は、軽度の要支援者が重度化することを防ぐ方向でよいのではないかと。実際、そうしてきたからこそ、軽度者の重度化が抑制されているのではないかと。

#### 委員

- ・それが事実であればよいが、ケアプランの精査が必要ではないか。
- ・ケアマネジャーの中には、介護サービスについて理解が不足している場合が見られ、安易に福祉用具の利用等としている場合がある。

#### 委員

- ・確かにケアマネジャーには差があると思っている。

#### 副委員長

- ・ケアプランには、利用者の意向もあると思うが、ケアマネジャーの資質にもよるのではないかと。

#### 事務局

- ・介護支援員連絡会議というケアマネジャーが集まる会があるので、そういった場でも周知をしていきたい。
- ・介護給付の適正化チェックの中にケアプランチェックがあるので、その中でも対応していきたい。

#### 副委員長

- ・公正、公平な方向となるようにしていただきたい。

#### **委員**

- ・参考資料にあるように、高齢者の地域づくりへの参加意向は高いが、実際に企画・運営するとなると比率は低くなっている。これは向日市だけの傾向ではないが、地域共生社会を進めるには、意識が行動に結びつくような取り組みが必要ではないか。

#### **委員**

- ・向日市のパブリックコメントについて、広報の方法、意見の反映等本来の形を実施していただきたい。
- ・現行の計画や前々期の計画のパブリックコメントや意見の反映や市民への周知方法に工夫がなかった。今回は、市民の誰にも伝わるようにしていただきたい。また、パブリックコメントで出された意見は真摯に回答していただきたい。

#### **副委員長**

- ・パブリックコメント制度の問題もあるが、市民が知り得ることができるよう考えていただきたい。

### 議事（2）その他

#### **事務局**

- ・次回の会議は、令和2年11月20日を予定しており、素案を出したい。事情により日程等の変更の可能性もあるが、会場は社会福祉会館で開催を予定している。
- ・パブリックコメントは、12月に実施の予定。
- ・会議方法は今回と同様の予定だが、新型コロナウイルス感染症の状況によって出席を見合わせたいという委員がおられる。事前に事務局で意見をお伺いし、会議当日に示したい。

#### **副委員長**

- ・新型コロナウイルス感染症を考慮する必要があるが、安易に書面会議というのもどうかと思うので、今回のような対応でお願いしたい。やむを得ない場合は書面会議となる可能性もある。

### 閉会